

道徳教育の推進に向けた 取組への提案

宮城県道徳教育推進協議会
平成31年3月

はじめに

平成29年3月に新学習指導要領が告示され、「特別の教科 道徳」が平成30年度から小学校で全面実施されており、平成31年度から中学校で全面実施されます。平成30年6月に「特別の教科 道徳」に係る取組状況調査を実施したところ、「家庭や地域に、道徳教育に関する情報の発信や授業公開を積極的に行っているとは言えない」「評価に関する校内研修が多く、授業づくりの検討まで至っていない」などの実態が明らかになりました。

宮城県教育委員会では、有識者等で構成する道徳教育推進協議会において「特別の教科 道徳」の実施や道徳教育の充実に向けた協議を行い、次のようにまとめました。

各学校におかれましては、校内研修等で活用するなど、学校の実情を踏まえた取組を進めていただきますようお願いいたします。

宮城県道徳教育推進協議会

道徳教育の推進に向けた取組

道徳科の充実

1 「考え、議論する道徳」への授業改善を

これまでの道徳の課題として、文部科学省教科調査官からも「児童生徒の考えが深まらずに終わる授業」が全国的に散見されたという報告がありました。「考え、議論する道徳」への授業改善を行うために、授業者として「授業改善のポイント」に留意しましょう。

【これまでの道徳の時間の授業の課題】（文部科学省教科調査官の資料より抜粋）

- ▲ 主題やねらいの設定が不十分な単なる生活体験の話合いの指導
- ▲ 読みものの教材の登場人物の心情理解のみに終始する指導（読み物道徳・読み取り道徳）
- ▲ 望ましいと分かっていることを言わせたり書かせたりすることに終始する指導（押し付け道徳）

【授業改善のポイント】

- 授業のねらいを明確にしましょう
 - ・ 道徳的価値に対する児童生徒の実態を把握すること
 - ・ 児童生徒に何を考えさせ、何に気付かせたいのかを明確にすること
 - ・ 児童生徒が問題意識を持ち、自分との関わりで考えるための導入や展開を工夫すること
- 多面的・多角的に考え、議論する授業を工夫しましょう
 - ・ 道徳的価値のよさや実現の難しさ、多様さなどについて気付かせる場面を設定すること
 - ・ 考える視点を固定化しない発問の工夫（切り返し、問い返しなど）や思考を可視化した板書の工夫、考えを交流する場面の工夫などを行うこと
- 自己の生き方について考えを深める工夫をしましょう
 - ・ 児童生徒がこれまでの自分を見つめたり、これからの生き方への課題や希望を持ったりする場面を設定すること
 - ・ 全教育活動と道徳科の授業を関連付けること

2 組織としてよりよい評価の在り方の検討を

児童生徒の自己評価や教師の見取りの記録方法を工夫するとともに、その実践を蓄積し、児童生徒を継続的に評価できる方法を工夫していきましょう。児童生徒の学習状況の把握を基に授業に対する評価と改善を行い、指導と評価の一体化を図ることが重要です。

【評価のポイント】

- 以下のような視点で学習状況を積極的に認め、励ます個人内評価にしましょう
 - ・ 道徳的価値のよさや大切さについて考えようとしている
 - ・ 道徳的価値について、一つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている
 - ・ 道徳的価値について、自分のこれまでの体験から感じたことを重ねて考えようとしている
 - ・ 授業で学んだ道徳的価値のよさを感じ、これからの自分の生活に生かそうとしている
- 道徳教育推進教師を中心として、学校や学年部で年度当初に共通理解を図りましょう
 - ・ 個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえる
 - ・ 学習の様子や成果などの記録を計画的に蓄積する
 - ・ 評価結果について教師間で検討し評価の視点などについて共通理解を図る
 - ・ 発言が多くなかったり、文章に記述することが苦手だったりする児童生徒の評価方法や発達障害等の児童生徒についての配慮すべき点を明確にする

道徳教育の推進

3 地域に根ざした郷土資料（みやぎの先人集等）の活用

教科書の使用とともに、内容項目に合致した場面での「みやぎの先人集『未来への架け橋』」（第1集・第2集）等を指導計画に位置付け、各学校の実態等を踏まえた特色ある指導をしていきましょう。

4 道徳教育に関する情報の発信と授業の公開

保護者や地域の方々に学校の道徳教育の取組を知らせるとともに、授業参観日等を活用して道徳の授業を広く公開しましょう。

校内研修の充実

5 以下を参考にした授業改善や評価について校内研修を

- 「道徳教育アーカイブ」 <https://doutoku.mext.go.jp/> 文部科学省
- 「『特別の教科 道徳』の全面実施に向けて」リーフレット <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gikyou/> 宮城県教育委員会

【平成30年度宮城県道徳教育推進協議会委員（敬称略）】

越中康治（宮城教育大学 准教授）	菅原啓士（大崎市立古川第一小学校 教諭）
佐藤純也（松島町立松島第一小学校 教諭）	水沼亜矢子（石巻市立青葉中学校 教諭）
高橋 勝（大河原教育事務所 副参事）	山田幸秀（仙台教育事務所 副参事）
岡 文（北部教育事務所 副参事）	三浦祐子（東部教育事務所 副参事）
佐藤 恭（気仙沼教育事務所 副参事）	一條美奈（総合教育センター 次長）